

わとまり



2026.1 / No.403

沖永良部島 和泊町広報誌

2026
年(うま)

令和八年 年頭のあいさつ

和泊町長 前 登志朗



あけましておめでとうございます。
輝かしい希望に満ちあふれた新春を、健やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から町政全般に対し、温かい御理解と御協力を賜り、衷心より深く感謝申し上げます。

◆ 財政健全化

本町の財政は、基金残高の増加や起債残高の減少により、健全化は進んでいるものの、他の市町村と比較すると依然として厳しい状況であります。

そのようなことから、令和七年度から第三期財政健全化集中対策期間と定め、限られた財源の中で持続可能な行政運営を目指し、財政健全化に向けた取組を継続してまいります。

歳入面では、ふるさと納税や地域資源を活用した自主財源の確保を継続して進め、歳出面では、年間所要額内で予算執行することとし、事業の優先順位見直しなどにより、効率的な行政サービスに努めてまいります。

さらには、人口減少や高齢化が進む中で、持続可能な「まちづくり」を進めるために、地方債の発行を慎重に行い、基金の積立も計画的に実施し将来負担の低減に努めてまいります。

◆ 子育て支援への取組

本町は、「こども・子育て」を最優先課題としています。妊娠期から出産、子育て、母子保健を一体的に支える「こども未来課」の設置により、安心してこどもを産み、育てる環境の整備、子育て支援に係る施策の強化、こどもの視点に立った課題解決への対応ができるよう体制を整えました。

島内における産婦人科医二名の常勤体制の確保、子育てに関するデジタル化の推進、こどもを誰一人取り残すことなく、全てのこどもが健やかで安全・安心して成長できる環境づくり、島で産み、育てるといふ環境を守り、未来へとつないでまいります。こども達が夢を描き、大人たちがその夢を支えあう町こそが、この島の未来を形づくる最大の力です。

一方、本町においても少子化が進む中で、こどもにとってより良い保育環境を整えるためにも、保護者ニーズや地域との合意形成を図りながら、こども園の統廃合や保育施設の在り方等についても検討を進めてまいります。

今後も引き続き、こどもにとって最善の利益が実現される社会を目指し、関係機関との連携強化を図り、子育ての喜びを感じられる町づくりに努めてまいります。

◆ 持続可能な和泊町づくり

● 脱炭素社会構築

本町は、令和四年一月に2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「和泊町ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めております。

令和四年度には、知名町との共同提案により環境省の「第一回脱炭素先行地域」に選定され、公共施設への再生可能エネルギー設備の導入、学校照明のLED化、EV公用車の導入、普及啓発事業等に取り組んでおります。令和九年度の

事業完了に向け、関係団体や事業者の皆様と協議を重ねながら、計画の着実な推進を図ってまいります。また、ゴミの削減や資源化に向けた取組につきましては、沖永良部衛生管理組合及び知名町と連携し、ゴミ分別の細分化やプラスチックゴミの再資源化について検討を進めており、引き続き事業化に向けた協議を進めてまいります。併せて、水道水硬度低減化事業の副産物である石灰の再利用など、資源循環の取組も推進してまいります。さらに、脱炭素に資する国の取組である「デコ活」や、本町が進める「持続可能なまちづくり町民3大運動」につきましても、関係機関と連携しながら、今後も継続して取り組んでまいります。

●みどりの食料システム戦略構築

国策定「みどりの食料システム戦略」に基づき、化学農薬の低減や作業の軽労化・効率化に寄与する技術の検証を進め、環境にも人にもやさしい栽培技術の構築に取り組んでおります。また、地場産野菜栽培研修会や重点新規事業による有機肥料助成を通じ、地産地消と自給率向上を図り、安心・安全な食の推進に努めております。

生産分野では、生産力向上と持続性の確立を基本に、さとうきびの夏植え作型転換やドローン防除支援を継続し、切花においてはスマートフラワーの産地づくりと販売戦略強化、さらに災害に備えた施設整備を進めてまいります。畜産では飼料価格高騰に対応し、自給粗飼料増産や重点新規事業による受精卵移植技術の活用、

暑熱対策など経営継続への支援を充実させてまいります。併せて、担い手確保や新規就農者支援、輸送コスト支援事業を活用した生産振興にも取り組んでまいります。

今後も温暖な気候を活かした複合経営を基盤に、「稼げる農業」の実現へ向け、支援してまいります。

◆奄美群島振興交付金について

国においては、「奄美群島振興開発特別措置法の一部を改正する法律」（通称：奄振法）が令和六年四月一日に施行され、新たに「移住の促進」や「沖縄との連携」などが明記されました。

奄美群島と沖縄は、もともと地理的・歴史的に繋がり深い地域であり、令和五年八月には鹿児島県と沖縄県、奄美群島広域事務組合の三者において「沖縄と奄美群島との交流の拡大に係る連携協定」が締結されました。本町においても、令和二年一月に沖縄県今帰仁村と、両地域の活性化を図ることを目的として「友好都市協定に関する協定書」を締結しており、住民・団体間の相互交流や、文化・教育・スポーツに関する交流及び連携を図っております。また、令和八年度には「奄美・沖縄子ども交流事業」として、奄美群島十二市町村の子どもたちと沖縄の子どもたちの交流事業も予定されています。

農林水産物等の輸送費支援については、これまで「鹿児島本土・奄美群島間」が支援対象であったところ、令和六年度より「奄美群島・沖縄間」が追加され、さらに、生産・出荷のために必要な

原材料などの移入に係る対象品目数が一市町村三品目から五品目に拡大され、支援内容の充実が図られました。加えて、令和七年度より奄美群島広域事務組合において「沖縄連携可能性調査」が実施されております。この調査では、沖縄が県外・国内外から取り寄せている農産物等の市場ニーズを把握し、奄美群島からの出荷可能性を分析することとなっております。

前述に加え、群島民を対象として、令和六年度より航路・航空路運賃の割引対象に沖縄路線が追加されたことから、引き続き、鹿児島県、沖縄県、奄美群島十二市町村及び沖縄沖洲会等の関係機関と協同し、奄振法に基づく「奄美群島振興交付金」等を活用しながら、沖縄地域との広域的な交流・連携を促進し、観光振興、関係人口の拡大及び稼ぐ力の向上を図るための施策を推進してまいります。また、その他本町の抱える課題や支援が必要な事項などについて、引き続き、町民の皆様からの御意見をしっかりと聞きしながら、国や県などの関係機関へ要望してまいります。

結びになりますが、昨年に引き続きDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や地域資源を生かした施策に取り組む、町民がより豊かさを実感できる環境づくりに取り組んでまいります。

輝かしい新年が町民並びに全国各地で御活躍されている皆様にとって幸福な年でありますよう心から御祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。

ルにススメ!



持

連続可能なまちづくりに焦点を当てた連載「サステナブルにススメ!」第4回は「まちゅんどプロジェクト」を取り上げていきたいと思います。「まちゅんどプロジェクト」は2021年3月に策定した「第6次和泊町総合振興計画」の中に含まれているプロジェクトです。「まちゅんど」とは「待ってるよ」という意味の方言で、島の未来を担う子どもたちが、就職や進学などで一度島を離れた後に、再び自らの意思で「帰ってきたい」と思えるような魅力的な町をつくることを目指す、人と町の長期的な関係性を構築するプロジェクトとなっています。前登志朗町長と、プロジェクトを最前線で推進している、企画課の有馬来夢（主事）・猿田瑞穂（地域おこし協力隊）・碩由佳理（移住・定住相談員）からお話を聞きました。

町長 島を離れていく子どもたちに対して、ただこちらで待っているだけではなく、彼らが外の世界で活躍している間も、私たちは「ちゃんと帰ってくる場所を準備しておくよ、魅力的な町を作っておくよ」と伝えたい。それが、このプロジェクトの原点です。取組の進行状況はどうですか？

企画課 島の自然や文化に触れる体験を通じて、子どもたちの心に島への誇りと愛着を育む「人づくり」。島を離れた子どもたちとの繋がりを維持し、彼らがいつでも島との接点を持ち続けられるコミュニティを支援する「関

サステナブル

係づくり」。子どもたちがUターンを考えた時の障壁となってくる、住まいや職業の環境を整備する「場所づくり」。この「人づくり」「関係づくり」「場所づくり」という3つの柱で取組を進めています。

町長 これら3つの柱で、子どもたちの成長段階に応じて切れ目なく関わり続けることで、町の未来を担う人材を育て、彼らがいつでも戻ってこられる土壌を耕していくんですね。まずは、その始まりである「人づくり」の具体的な活動を聞かせてください。

企画課 まちゆんどプロジェクト内の「人づくり」に関わる活動を行う際の旗印として「まちゆんどラボ」を立ち上げました。子どもたちが島にいる間に、島の歴史・文化・自然などの魅力に触れたり、島にある職業や島に必要な職業について学ぶことを通して、島に対する誇りと愛着を持ってもらいたいと思っています。活動を広く知っていただきたくて、WEBサイト①も開設しました。町長は御覧になったことありますか？

町長 もちろん見ていますよ！「まちゆんどラボ」では、子どもたちが島の自然や生き物と触れ合う、とても楽しそうなイベントを数多く手がけていますよね！

企画課 積極的にイベントの開催をしています。令和7年度も、ジャガイモの緑肥として植えられるヒマワリを活用して迷路をつくる「挑戦！ヒマワリ迷路」②や、島の昆虫を採集し、標本づくりをする「虫とり大作戦！」、

島魚を釣り、そして捌く「えらぶの魚調査隊」など、島の良さを肌で感じながら、生き物や地球環境について詳しく知ったり考えたりするきっかけになるようなイベントを多く開催することができました。

町長 イベントの企画や運営をする時に、何かにかけていることはありますか？

企画課 ただ楽しいだけでなく、そこから学びが生まれるような仕掛けを意識しています。ヒマワリ迷路の時には、子どもたちに「このヒマワリは何のために植えられているのか知ってる？」と問いかけました。花が終わった後に畑にすき込むことで土の栄養へと変わる、植物（緑）が肥料になるから、それは「緑肥」と呼ばれるということを学んで欲しかったからです。迷路づくりと迷路体験を楽しみながら自分たちが遊んだ場所が、その後にジャガイモ畑へと繋がっていくことを知ってもらえるといいなど。楽しみながら学ぶ、そんなサイクルができればいいなと思っています。

町長 楽しみながら学ぶ！私も島の自然の中で遊びながら色々なことを学んだ記憶があります。海でウニを獲って割る時は、波の上（かみ）で割らないと、ウニについた黒い虫に刺されて体中が痒くなるとか（笑）。遊びの中から自分で考えて、自分で解決方法を見つけて、自分で学ぶということもありますよね。

企画課 最終的には、私たちがいなくても子どもたちが自分たちで「次は何をしようか」と考えて活動を回せるようになってほしいな

と思っています。例えば、自分たちで育てたものを販売して、その売上を次の活動資金にする。そんな経済的な部分も含めて、自主性も育んでいきたいと思っています。

町長 先日開催された農業祭で、ヒマワリ迷路で穫れたヒマワリの種を使ったグッズの販売を子どもたちと一緒にしていましたよね、あれは今後の展望に繋がっていたんですね。今後の課題などありますか？

企画課 ヒマワリ迷路や魚調査隊は農業や漁業などの職業に興味を持ってもらう機会になればいいなとも思っていました。島には職業が少ないと言われるので、職業に関わる部分に、もう少し活動を広げていく必要があるかなと感じています。

町長 畑や漁に触れる子どもたちが減っているなかで、これらのイベントをきっかけに農業や漁業に興味を持つ子どもたちが増えて、さらに就業にまで繋がっていったら素晴らしいですね！一方で職業のあり方が、ものすごい勢いで変わってきています。島だから農業・漁業という時代ではなくなってきていると思います。環境さえ整えばどこでも仕事ができる時代に入ってきているなか、イベントに参加していた子どもたちが10年後・20年後に「どこで仕事をしてもいいけれど、せっかくなら沖永良部で頑張りたい」と島を動かしてくれるような状態も目指したいです。

企画課 もうひとつの課題として、親世代の大人の方々の意見はもちろんなのですが、

メスにル

子どもたちが何を求めているのかといった部分にしっかりと耳を傾けて、その意見を吸収しながら柔軟に取り組んで行かなければならないと考えています。

町長 そうですね、子どもたち自身が思っていることを知らずに「島への誇りと愛着」の種は植えられないと思います。次に大切になってくるのが、種を芽吹かせるために必要な「関係づくり」ですね。そこらはどのように進んでいますか？

企画課 「関係づくり」は、島を離れて都会で暮らす若い世代との繋がりをいかにして育み、維持していくか。これは、彼らの島への誇りと愛着心を支える大切な活動だと思っています。Uターン希望者が多い世代と年齢が近い、島内の若者が中心となって組織している民間団体「一般社団法人シマスキ」と協力しながら進めているところです。

町長 同世代の方々の協力はとても心強いです。すね！そして、どんなに遅い芽が出て、根を張るべき土壌がなければ育つことはできません。プロジェクト第3の柱「場所づくり」の様子はどうですか？

企画課 若い世代が島外からスムーズにUターンできるように、住まいと仕事の環境を整えることが「場所づくり」のパートになります。まず住まいに関わるお話しからすると、「空き家はあるけど、インターネットなどの表立ったところに情報が出てこない」という課題があります。「知らない人に貸したくない」

「家族や親戚が帰ってきて使うかもしれない」といった思いから、空き家を賃貸に出すことや売却することに消極的な所有者さんが多いようです。仕事に関しても同じ傾向がみられていて、「人手不足なのに、公に求人情報が出ていない」といった課題がある現状となっています。どちらも信頼関係を重視する、島の人間関係の特性が深く関わっているような気がします。

町長 無用なトラブルを避けたいという気持ちも、きっとありますよね…

企画課 ええ、そういった声もよくお聞きしています。現在、町の空き家バンクでは大家さんの連絡先を載せて、大家さんと賃借・購入希望の方とで直接やりとりをする形になっているのですが、課題解決の策として、大家さんの連絡先は伏せた状態で空き家バンクに掲載し、こちらで賃借・購入希望の方の面談などをして大家さんと合うかどうかの判断をする流れに変更しました。両者の間に入り、町がフィルターとクッションの役割をすることで mismatches を防ぎながら、大家さんが安心して空き家を提供できる環境を作り、空き家バンクの掲載情報数を増やせたらなと思っています。

町長 その情報をUターンを検討している方々に届けなければいけませんよね。どのようにしていますか？

企画課 和泊町の移住関連の情報をまとめた「くらすわどまり」というWEBサイト^③で

空き家や仕事の情報などを随時更新しながら掲載しています。「くらすわどまり」ではInstagram^④での発信にも力を入れています！プロジェクトの主なターゲットである20代から40代のUターン希望者に、島の暮らしや景色、空き家の情報などを「気軽にキャッチ」してもらえようとしています。SNSを通じて、島にルーツがある人やその周りの人たちが気軽に島の情報に触れてくれることを期待しています。ふとした瞬間に島の情報が目に入り、将来の選択肢として意識してもらうきっかけになればと。

町長 それはUターン者だけではなく、移住全体の推進にもなりますね！この先、2拠点生活を送る人や、場所に縛られずにリモートで仕事をする人がますます増えてくるでしょう。そうした新しいライフスタイルにも対応できる町であることも、これからの魅力に繋がっていくと考えています。沖永良部島にとって、和泊町にとって一番の資源は「人」だと思っています。このプロジェクトを通じて、子どもたちには自分の島に誇りを持って島から巣立っていったもらいたい。そして、外の世界で様々な経験を積み、技術を身につけ、自分らしい人生を歩んでほしいと願っています。活躍の場は世界中どこにあっても構いません。もし「自分の力を故郷で試したい」と思ったとき、私たちはいつでも温かく迎え入れられる、魅力あふれる町であり続けたい。そんな未来を、皆さんと共に築いていきたいですね。

サステナブル

②「挑戦！ヒマワリ迷路」の様子



①「まちゅんどラボ」 WEB サイト



③「くらすわどまり」 WEB サイト



④「くらすわどまり」 インスタグラム



TOPICS



株式会社ダイセル会長 小河義美氏が和泊町役場を表敬訪問

令和4年度に企業版ふるさと納税による御寄附をいただいた、株式会社ダイセル(本社:東京都港区)取締役会長 小河義美氏をはじめ、社員御一行様が9月26日(金)、和泊町役場を表敬訪問されました。前町長より、「ダイセル様より温かいご支援を賜り、島の子ども達に離島では体験できない素晴らしい学びの場を提供いただき、心から感謝申し上げます」と謝辞を述べました。小河会長より、「和泊町は、自然豊かで教育環境も素晴らしい。沖永良部島から日本や世界を代表する優秀な子どもたちがたくさん出てくることを期待しています。これからも応援します!」と寄附への想いを述べられました。



和心館相撲スポーツ少年団 町長訪問

和心館相撲スポーツ少年団は、8～10月にかけて、わんぱく相撲全国大会や九州大会等に男女7名が出場し、亘紗優花さん(内城小4年)が全国大会で2度優勝するほか、全国大会女子団体戦4位、九州大会男子団体戦ベスト8などの好成績を収めました。「多くの方の温かい御声援、御支援のおかげで大舞台上で挑戦することができ、心身共に大きく成長することができました。心より感謝申し上げます。」と話をしていました。



アテネ五輪柔道金メダリスト 鈴木桂治さん柔道教室開催!

8月17日、和泊町研修センターにて2004年のアテネオリンピック柔道男子100kg超級金メダリストであり、現在は柔道日本代表監督を務める鈴木桂治氏による柔道教室が開催されました。今回で4回目の開催となり、島内外の幼児から高校生まで約30名が参加し、打ち込みや乱取り稽古を通じて熱心に交流しました。

TOPICS



国頭小



和泊小



内城小



大城小

小学校運動会

10月26日、爽やかな秋空の下、町内の4つの小学校で運動会が開催されました。力いっぱい走る姿、仲間と協力する姿、応援に包まれた笑顔があふれ、子どもたちの成長を感じる一日となりました。



(株)皆村農園が「全国担い手育成総合支援協議会会長賞」受賞

10月23日、鹿児島市で開催された「第27回全国農業担い手サミットinかごしま」で、全国の優良経営体代表として皆川字の(株)皆村農園が「全国担い手育成総合支援協議会会長賞」を受賞しました。皆村正樹代表取締役は、「今後も全国に安心・安全なばれいしょを届けられるよう頑張りたい」と抱負を述べていました。



選挙出前授業

10月21日、沖永良部高等学校の1年生を対象に「政治的教養を育む教育」(選挙出前授業)が実施されました。例年、知名町選挙管理委員会との合同開催をしておりますが、今回は両町議会による主権者教育の一環として取り組み、若年層が政治に関心を持つことや政治参加の重要性についての発信やワークショップを行いました。投票して終わりではなく、投票した責任を持つ有権者になることが大切だと生徒たちは学ぶことができました。

TOPICS



	部 門 名	氏 名
和泊町総合褒賞 受賞者	地方自治部門	東郷 重毅
		森 富隆
		野山 孝仁
		平山 和仁
		山下 幸秀
		谷山 俊秀
		野村 美枝
		瀬島 勝夫
	教育文化部門	竹下 安秀
		南 ヨシエ
		内田 邦枝
	社会福祉部門	前 幸貴
		本部 玲子
	産業経済部門	沖 裕任
	環境美化部門	皆村 博幸

	部 門 名	氏 名
文化と福祉の祭典 受賞者	生涯学習の町づくり	三島 秀俊
	健康づくり	中田 喜勲
		林 義平
	いきいき高齢者	太 ヨシ
		三島 敬志
		伊東 シゲ
		白川 壽三夫
	食生活改善	山下 初美
		田中 俊子
	伝達：8020運動	上田 敏孝
		田仲 國重
		外山 榮彦
		吉井 フジ子
		高石 光子

第27回和泊町総合褒賞授与式・令和7年度文化と福祉の祭典

11月2日、和泊中学校あかね文化ホールにおいて第27回和泊町総合褒賞授与式・令和7年度文化と福祉の祭典が挙行政され、午前中に各表彰式及び太千鶴氏による「心に寄り添う音楽～文化・芸術の役割」と題しての講演会、和泊中学校1年林実花(はやしみはな)さんの「誰かのためにできること」、城ヶ丘中学校2年井手うらら(いでうらら)さんの「私が考える和泊町の町づくり」と題した「わたしの主張」の発表がありました。午後からは町内文化芸能団体等による文化発表があり、会場を盛り上げました。

TOPICS



第63回和泊町農業祭

11月23日、役場庁庭において第63回和泊町農業祭が開催されました。農業に関する体験発表や招待講演、各事業所・団体による農林水産物やその加工品、食事の販売及びステージ発表が行われました。また、前日に行われた自給野菜品評会では、最優秀賞に牧野照代さん(キャベツ・上手々知名)、金賞に太ヨシさん(しょうが・仁志)、牧野照代さん(小ねぎ・上手々知名)が選ばれました。



国営沖永良部土地改良事業完工式

11月5日、知名町フローラル館にて、国営沖永良部土地改良事業の完工式(九州農政局主催)が行われ、国、県、両町等の関係機関から63名が出席しました。この事業は、農業用水の安定的な確保と供給を目的とし、主要工事として、地下水をためる地下ダムと揚水機場1か所、吐水槽1か所、貯留タンク(ファームポンド)2か所、用水路(44.4km)を整備しました。

陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

高等工科学校とは、将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成し教育する陸上自衛隊の学校です。

● 募集要項

募 集 種 目	高等工科学校一般
応 募 資 格	男子で中卒(見込含)17歳未満の者
受 付 期 間	令和7年10月1日(水)～令和8年1月15日(木)
試 験 期 日	【第1次試験】令和8年1月24日(土)又は1月25日(日)のいずれか指定された日 【第2次試験】令和8年2月12日(木)～15日(日)までの間の指定する日
試 験 会 場	徳之島合同庁舎(国)所在地：徳之島町亀津553-1
入 校	令和8年4月上旬

島を護る未来の自衛官募集中！

自衛隊鹿児島地方協力本部徳之島駐在員事務所 / TEL:0997-83-3080

福岡出入国在留管理局鹿児島出張所 名瀬審査事務室 開庁予定日

	第1日目 14:00～17:30	第2日目 09:00～12:00		第1日目 14:00～17:30	第2日目 09:00～12:00
1月	13日(火)	14日(水)	7月	6日(月)	7日(火)
2月	16日(月)	17日(火)	8月	17日(月)	18日(火)
3月	9日(月)	10日(火)	9月	14日(月)	15日(火)
4月	13日(月)	14日(火)	10月	13日(火)	14日(水)
5月	11日(月)	12日(火)	11月	9日(月)	10日(火)
6月	8日(月)	9日(火)	12月	7日(月)	8日(火)

【注意事項】

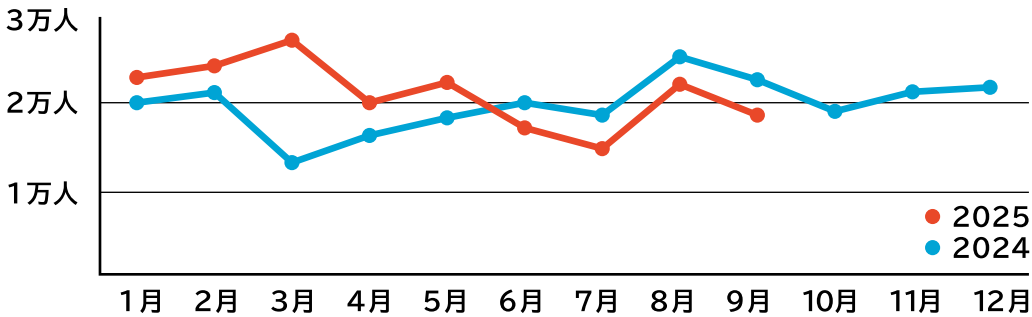
1. 天候の影響等により、開庁日や開庁時間等が急遽変更となる場合がありますので御了承ください。
2. 各種申請手続きや必要書類等についてのお問い合わせは、下記照会先まで御連絡ください。
3. 在留期限日を過ぎないように、申請には余裕をもってお越しください。(※更新申請は、在留期限の満了するおおむね3か月前から可能です。)

【所在地】奄美市名瀬長浜町1-1 名瀬地方合同庁舎4階 ※電話は設置されておられません。

【照会先】福岡出入国在留管理局鹿児島出張所 / 099-222-5658 (9時～17時 ※土・日・祝日を除く)

観光専門アドバイザーからのお知らせ

ブログウォッチャー社が提供するスマートフォンの位置情報データを元にまとめた、島内観光客のおおまかな状況をお知らせいたします。



観光専門アドバイザー
安達友香

※出張や帰省などで来島の方も含まれている可能性があります。
(出典：九州経済調査協会 / ブログウォッチャー『おでかけウォッチャー』)

2025年の島内観光客数は好調なスタートを切り、1～5月まで上り調子となりました。特に3月は著しく増加しています。しかし、6月からは下降し、前年を若干下回る結果となっています。2024年と比較して2025年は、7.8月の合計降水量が約2倍多く、合計の日照時間も約80時間短くなっており、天気の影響を受けた可能性も考えられます(参照：気象庁データ)。2025年の観光客数が多かった日を順位付けすると、【1位】2月14日・【2位】8月2日(知名町夏祭り前夜祭)となっています。

和泊町役場企画課 / TEL:0997-84-3512

年末年始のごみ出しについて

年末年始はごみ出しの量が増える傾向があります。溜め込まず、早めに出すよう心掛けましょう。

	センター持込	ごみ収集
12/26(金)	通常どおり	通常どおり
12/27(土)	15:00まで	収集日外
12/28(日)	休業日	収集日外
12/29(月)	通常どおり	通常どおり
12/30(火)	正午まで	通常どおり
12/31(水)	年末年始休業	
1/1(木)		
1/2(金)		
1/3(土)		
1/4(日)		
1/5(月)	通常どおり	通常どおり

和泊町役場町民支援課 / TEL:0997-84-3516

宝くじ助成金で整備しました!

後蘭字では、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している令和7年度コミュニティ助成事業で、公民館にスポットエアコンや折りたたみ椅子、音響設備などを整備しました。



和泊町役場総務課 / TEL:0997-84-3511

民生委員・児童委員がかわりました

一斉改選により令和 7 年 12 月 1 日より民生委員・児童委員がかわりました。民生委員・児童委員は、福祉・保健・家族・環境・住居・子育てや住民から生活の悩み等の相談を受け、専門機関（県や町の行政・社協など）との橋渡しをするのが仕事です。お気軽に御相談ください。

民 生 委 員 ・ 児 童 委 員					
和泊(北)	上別府 勝枝	和泊(南)	瀬川 光雄	和	大吉 聰美
手々知名	佐藤 秀子	上手々知名	関根 和枝	喜美留	伊東 範江
出花	山下 純子	伊延	赤理 美智枝	畦布	永吉 由美子
国頭(東)	三浦 幸枝	国頭(西)	葉棚 美津乃	西原	村山 明美
根折	有林 智江美	玉城	松下 敦代	大城	橋口 由紀子
皆川	美野 智子	古里	重村 すみよ	内城	村山 ツタ子
瀬名	外山 江利奈	永嶺	欠員	仁志	武 喜美栄
谷山	松村 敦子	後蘭	前田 由莉子		
主 任 児 童 委 員					
大坪 あけみ			大江 民子		

和泊町役場保健福祉課 / TEL:0997-84-3517

土木課

参加無料！リモート対応可！

空き家相談会

空き家の活用に悩んでいる。リフォーム・解体・賃貸・売却、色々と選択肢があり迷っている。義務化された相続登記のやり方が分からず困っている。そんな方におすすめの相談会です。

日時

令和 8 年 2 月 1 日(日)12:00 ~ 15:30

会場

和泊町役場（1 階 結いホール）

お申し込み締切

令和 8 年 1 月 23 日(金)17:00

お申し込み方法

申込方法 ① 申込フォームを入力

申込方法 ② 役場土木課へお電話

申込
フォーム



和泊町役場土木課 / TEL:0997-84-3520

教育委員会事務局

「沖永良部島古墓群」シンポジウム開催！

沖永良部島には、大型で特徴的な形をした古墓が多数所在します。地域の皆さんに「沖永良部島古墓群」のことをもっと知っていただきたいと考え、シンポジウムを開催します。

日時

令和 8 年 2 月 11 日(水/祝日)16:00 ~ 18:30

会場

おきえらぶ文化ホール「あしびの郷・ちな」

参加申込不要 / 入場無料

記念ブックレット(資料集)&特製グッズを先着200名様にプレゼント！

和泊町歴史民俗資料館文化財作業室

TEL:0997-92-0911

INFORMATION

県立宮之城高等技術専門学校

入校生募集

令和8年度生 一般選考試験（C日程）

● 訓練科目：室内造形科・建築工学科

● 募集期間：令和8年1月9日（金）まで

※ 応募書類は、県内各高等学校・職業安定所・県地域振興局窓口まで。

※ 詳しくは、本校募集案内・ホームページを御覧ください。

【お問合せ先】鹿児島県立宮之城高等技術専門学校
電話：0996・53・0207

確定申告に関するお知らせ

令和7年分の確定申告は、読取対応スマホとマイナンバーカードを利用して、御自宅から申告できるe-Taxを御利用ください。国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」では、金額等を入力するだけで、自動計算で、申告書の作成・e-Taxによる送信ができます。詳しくは、国税庁ホームページ（<https://www.nta.go.jp/>）を御覧いただくか、国税相談専用ダイヤルや最寄りの税務署にお尋ねください。

【国税相談専用ダイヤル】

電話：0570・00・5901

【大島税務署】

電話：0997・52・4321

※ 自動音声案内

申告相談会場への来場を

検討されている方へ

申告相談会場では、御自身のスマホを利用し、「確定申告書等作成コーナー」を利用した申告書

等を作成、e-Taxによる送信（提出）する指導を行っていますので、スマホをお持ちの方は御用意ください。また、e-Tax送信の際にはマイナンバーカードを使用しますので、御持参の上、御来場いただきますようお願いします。

● パスワードの事前確認

e-Tax送信に当たっては、マイナンバーカードの発行時に設定した2種類のパスワードも必要です！

① 利用者証明用電子証明書のパスワード
（数字4桁）

② 署名用電子証明書のパスワード
（英数字6～16文字）

● パスワードの初期化・再設定方法
マイナンバーカードのパスワードを忘れてしまった場合やロックがかかってしまった場合、役場町民支援課でパスワードを初期化・再設定することができます。

開発基金を利用してみませんか？

- 農業・水産を営む方
- 観光関連業に携わる方
- 地域の資源を生かした仕事をしている方
- 地域活性や雇用促進のための事業をしている方
- これから事業を始めたいと考えている方

融資業務利率（令和7年11月19日時点）

年1.80～3.80%（一部の資金や経営状況等により利子補給が受けられる場合があります。）

融資期間：5～20年

【お問合せ先】独立行政法人奄美群島振興開発基金
沖永良部事務所

電話：0997・92・1314

＋ 休日診療のお知らせ

1/25	1/18	1/12	1/11	1/4	1/3	1/2	1/1	12/31	12/28
町田医院	福山医院	本部医院	朝戸医院	大蔵医院	町田医院	福山医院	本部医院	朝戸医院	大蔵医院

変更になる場合があります。当番医院に御確認の上、御来院ください

沖高新聞

沖永良部高校
0997-93-2014

沖高ブログ



新連載 沖高新聞、始まる！

新連載「沖高新聞」が始まります！生徒たちが（たまには先生が笑）記者やカメラマンに成り変わり、等身大の沖高の様子をお伝えしていきます。

11月5日、研究公開授業がありました。沖永良部高校は、県の「令和の日本型学校教育推進支援プログラム」の研究校として、令和5年度から3年間授

業法研究等に取り組んでいます。「令和の日本型学校教育」では、社会の変化に対応するため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる新しい学びを目指しています。国語では思考ツールを利用している協働的な学びを、数学では生徒が主体的に課題に取り組む個別最適な学びを実践例として公開しました。



【今月の記者】

校長：徳留 健作

【今月のカメラマン】

国語教諭：岡留 幸恵

元気！わどまりクラブ通信！

陸上教室を開催しました！

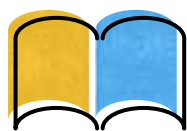
新年あけましておめでとうございます。

去年は教室やサークル、スポーツ少年団、イベントとたくさんの方々に御参加いただき、ありがとうございました。島内では新年より駅伝大会やジョギング大会と多くのイベントが開催されますね！元気！わどまりクラブでも、11月16日に陸上教室を開催しました。講師から走り方の基本やコツを教わり、最後はチーム対抗のリレーを行い白熱したレースが繰り広げられました。本年も陸上競技をはじめ、スポーツや文化を通して皆様と活動できることを楽しみにしております。皆様が大きなけがや事故をせず、楽しく熱いスポーツや文化活動を行えるよう、当クラブも活動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



陸上教室

詳しくは【元気！わどまりクラブ事務局 / 電話：0997-92-0300】まで御連絡ください！



Library

午年(うまどし)に新たなる躍動を!!

午年(うまどし)は「躍動・成功・勝負運」を象徴し、行動力と情熱によって物事が大きく発展する年とされています。今年
は「丙午」の年で、新しい挑戦に光が差し前進する年です。



『海風』

著:今野 敏

迫られる攘夷か、開国か一。1953年6月、浦賀にその姿を現した4隻のアメリカ軍官。強力な武力をもって日本に開国を求める司令長官・ペリーの対応に幕府は苦慮していた。強硬な欧米列強を前に、新進の爆心たちが未曾有の国難に立ち向かい、現代の日本の方向性を決定づけた。



『日本領サイパン島の一萬日』

著:野村 進

手近なりゾート地というイメージが定着しているサイパン島は、第一次世界大戦中からアメリカによる占領まで約30年間、日本の統治下に置かれた。移民によって開墾され、「南洋の東京」として栄えたが、やがて壮絶な戦禍に巻き込まれることに一。移民2家族を通してサイパンの歴史を描く。



『イン・ザ・メガチャーチ』

著:朝井リョウ

あるアイドルグループの運営に参加することになった、家族と離れて暮らす男。内向的で繊細な気質ゆえ積み重なる心労を癒したい大学生。仲間と楽しく舞台俳優を応援していたが、とある報道で状況が一変する女。世代も立場も異なる3つの視点から、人のこころを動かす功罪を炙り出す。

新着本 / 一般書

『生成 AI 最速仕事術』 著者: たてばやし 淳
『マスカレード・ライフ』 著者: 東野 圭吾
『蛭たちの祈り』 著者: 町田 そのこ
『脳のオイル交換』 著者: 根本 千代子
『大田昌秀』 著者: 野添 文彬
『ここで唐揚げ弁当を食べないでください』 著者: 小原 晩
『戦争に抵抗した野球ファン』 著者: 山際 康之
『戦場(いくさば)の島』 著者: 下地 幸夫
『激しく煌めく短い命』 著者: 綿矢 りさ

新着本 / 一般書

『かんぽ生命びくびく日記』 著者: 半沢 直助
あたらしくはいったほん / じどうしょ
『アイスキッズの冒険』 かいたひと: さとう めぐみ
『おかしのまちのおかしな けっこんしき』 かいたひと: いわさき さとこ
『いまのきもち は どんないろ』 かいたひと: えがしら みちこ
『あける』 かいたひと: はらぺこめがね
『誰も知らない世界のことわざ』 かいたひと: エラ・フランシス・サンダース
『まほうのれいぞうこ』 かいたひと: さいとう のぶ
『きもちのことばえほん』 かいたひと: 金田一 秀穂

※この他にもたくさん配架しています。

和泊町立図書館

TEL:92-3033/FAX:92-0773



〔休館日〕毎週月曜日・祝日・整理休館日 〔開館時間〕午前9時30分～午後6時

- 整理休館日は毎月15日です。月・土・日・祝日に係る場合は変更します。
- 図書館を御利用の際は、本を入れるバッグの持参に御協力ください。
- 休館日の返却は、入口横のポストへお願い致します(紙芝居以外)。
- 返却期日をお守りください。

松っちゃんのお電気 ですか!?



カレンダー上では冬ですが、暖房を使う事もほとんどなく、この時期の電気代の支払いは比較的少ないです。埼玉に居た頃の電気代を見返してみたらよく払っていたなこれ、と思うほどでした。夏場の支払いにも目を向けてみると、こちらも沖永良部の方が安い事に気づきました。そう、東京電力よりも九州電力は電気代が安く設定されています。高騰したと言われる昨今でも料金単価はおよそ1.5倍東電の方が高いです。これに関しては九電の電源比率が原子力発電所や再エネ電源が多く、燃料費の高騰に左右されないから、と言われています。しかし、沖永良部での電源構成はほとんどが火力発電所であり、輸送費も考慮すると電源コストは高額なはず。九州本土と変わらない料金で電気を使用できているのは、離島ユニバーサルサービス調整制度のおかげです。この制度で一般送配電事業者は離島の需要家に対し本土と同等の料金で電気を供給することが義務付けられており、その為に電力会社は管内の全需要家から広く徴収し、離島燃料費の変動に対応しています。もしこの制度がなかったら、と想像すると、恐ろしい限りです。離島における生活や産業が大きく変容してしまうでしょう。

しま知る“さる田”のエラブ発見!



クロトンという植物を御存じでしょうか。お家の生垣や畑の境に植えられていることが多い植物で、強い日差しと高い気温の環境で元気に育つそうです。沖永良部島にピッタリですね。クロトンは、ヘンヨウボク（変葉木）とも呼ばれていて、葉に特徴があります。赤や黄、紫などのまだら模様があり、形は細長い形やほこ型、らせん形にねじれているものなど多様です。皆さんのお家のまわりには、どんな模様や形のクロトンが育っていますか? ぜひ、探してみてください。まちゅんどラボでは、島の自然や文化を活用し、遊び学ぶ活動を行っています。こちらから御覧いただけます。

まちゅんどラボ
猿田瑞穂



はなしゃぬわらび



さな
亘 咲花ちゃん
(0才)

りんたろう
亘 凜汰郎くん
(8才)

さゆか
亘 紗優花ちゃん
(10才)

亘家のアイドル、いつもニコニコ笑顔の咲花ちゃん! お姉ちゃんお兄ちゃんの背中を追いかけて相撲で日本一目指します!

戸籍の窓

町の人口

※ 12月1日現在()は前月比
※ 外国人を含む

総人口：5,861人(-12) 世帯数：3,222戸(-9)

男 性：2,946人(-5) 女 性：2,915人(-7)

結婚

氏 名	住 所
田中 一毅・泉 静佳	根折・知名町

出 産

子 の 名 前	性 別	保 護 者	住 所
梶原 明央生(めいせい)	男	新也・真舞	内城
村山 海莉(かいり)	女	大樹・留理	内城
西 玲緒(れお)	男	未来・静花	国頭
前田 咲希(みつき)	男	啓至・朋恵	永嶺
島田 彩世(あやせ)	男	裕治・香里	玉城
末川 楓惟(かい)	男	雄介・明日翔	国頭
赤山 詩季(しき)	女	紀樹・ゆうき	手々知名

おくやみ

月 / 日	故人	歳	住所
9 / 25	小山 昌子	96	古里
10 / 7	池田 チヨ子	88	西原
10 / 21	逆瀬川 悦	90	手々知名
11 / 2	大内山 百合子	98	手々知名

おくやみ

月 / 日	故人	歳	住所
11 / 2	伊村 久美子	88	玉城
11 / 8	永吉 ミヨ	91	畦布
11 / 9	盛 茂伸	73	和泊
11 / 17	菅村 初	90	和泊
11 / 23	桂 幸	101	内城

香典返し

寄付者	故人	続柄	住所
和田 廣勝	和田 川則	父	和
小山 茂俊	小山 昌子	母	古里
作田 義富	作田 有希也	子	国頭
逆瀬川 喜美子	逆瀬川 悦	義姉	上手々知名
川畑 利美	川畑 マサヨ	母	喜美留
盛 喜一郎	盛 茂伸	父	神奈川県相模原市
菅村 政孝	菅村 初	母	埼玉県飯能市
池田 賢一郎	池田 チヨ子	母	西原
平村 ヨ子	平村 源幸	夫	手々知名
永山 盛淳	永山 千代	母	和泊

2025年10月1日から2025年11月30日までのお届けのうち、掲載依頼のあった届けのみを掲載しています。(敬称略)

地域おこし協力隊日記

3年前、総合型地域スポーツクラブのスポーツアドミニストレーターとして着任しました。「スポーツクラブ」という名前ですが、私が大切にしてきたのは「多様な活動を通じて、あらゆる世代が集える場所をつくること」でした。特に力を入れたのが、島の自然素材を使ったものづくり教室です。小さな子どもから御年配の方まで、本当にたくさんの方々が参加してくださいました。世代を超えて同じテーブルを囲み、手を動かしながら会話が生まれる。その光景を見るたびに、心から嬉しく思いました。今年度3月で協力隊としての任期は満了となりますが、私はこの島に残り、これからも活動を続けていきます。引き続き、皆さんとともに歩んでいくことを楽しみにしています。



スポーツアドミニストレーター 西谷 麻巳



第42回 花の島沖えらぶ ジョギング大会 2026.3.8[SUN] 8:30開会

申込期間

2025.12.15[MON]
|
2026.1.25[SUN]

公式 HP



Instagram



リチウムイオン 電池を捨てたい!

そんなときは、役場に設置
されている回収ボックスか
クリーンセンターまで直接
持ち込んでください。役場の
回収ボックスは町民支援課
の横にある総合案内看板の
下に設置しています。この
ポスターが目印です! ➡

**火元は
電子機器**

充電式の機器は、過度な力が加わると
激しく発熱・発火する危険があります

ごみ処理中の 発火トラブル 急増中!!

**リチウムイオン蓄電池は、クリーンセンター又は
和泊町役場庁舎内回収ボックスへ直接お持ち込みください。**

・和泊町役場 町民支援課 0997-84-3516
・クリーンセンター(沖永良部衛生管理組合) 0997-92-2042

